

振 動

項目	現況把握	予測・影響の分析																	
施設の稼働に伴う影響	<p>環境振動の現地調査結果は、全ての時間区分において、規制基準値を下回っていました。</p> <p style="text-align: right;">単位：dB</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>時間区分</th> <th>振動レベル</th> <th>規制基準値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>昼 間</td> <td><25</td> <td>65</td> </tr> <tr> <td>夜 間</td> <td><25</td> <td>55</td> </tr> </tbody> </table>	時間区分	振動レベル	規制基準値	昼 間	<25	65	夜 間	<25	55	<p>予測結果は、生活環境の保全上の目標を達成することができ、「整合性が図られている」と評価しました。</p> <p style="text-align: right;">単位：dB</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>予測地点</th> <th>予測結果</th> <th>生活環境の保全上の目標</th> <th>整合性</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>敷地境界上における最大値出現地点</td> <td>61</td> <td>65 以下</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table>	予測地点	予測結果	生活環境の保全上の目標	整合性	敷地境界上における最大値出現地点	61	65 以下	○
	時間区分	振動レベル	規制基準値																
昼 間	<25	65																	
夜 間	<25	55																	
予測地点	予測結果	生活環境の保全上の目標	整合性																
敷地境界上における最大値出現地点	61	65 以下	○																
廃棄物運搬車両等の走行に伴う影響	<p>道路交通振動の現地調査結果は、全ての時間区分において、参考値を下回っていました。</p> <p style="text-align: right;">単位：dB</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>時間区分</th> <th>振動レベル</th> <th>参考値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>昼 間</td> <td>35</td> <td>65</td> </tr> <tr> <td>夜 間</td> <td><25</td> <td>60</td> </tr> </tbody> </table>	時間区分	振動レベル	参考値	昼 間	35	65	夜 間	<25	60	<p>予測結果は、生活環境の保全上の目標を達成することができ、「整合性が図られている」と評価しました。</p> <p style="text-align: right;">単位：dB</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>予測地点</th> <th>予測結果</th> <th>生活環境の保全上の目標</th> <th>整合性</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>県道鴨川富山線沿道</td> <td>36～39</td> <td>65 以下</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table>	予測地点	予測結果	生活環境の保全上の目標	整合性	県道鴨川富山線沿道	36～39	65 以下	○
時間区分	振動レベル	参考値																	
昼 間	35	65																	
夜 間	<25	60																	
予測地点	予測結果	生活環境の保全上の目標	整合性																
県道鴨川富山線沿道	36～39	65 以下	○																

悪 臭

項目	現況把握	予測・影響の分析
施設の稼働に伴う影響	<p>悪臭の現地調査結果は、特定悪臭物質濃度^{注1)}、臭気指数^{注2)}ともに、全ての調査項目において、規制基準値を下回っていました。</p> <p>注1) 特定悪臭物質濃度：悪臭防止法で指定されている22物質の濃度 注2) 人の嗅覚を用いて臭いの程度を数値化したもの</p>	<p>悪臭源である可燃ごみが滞留する時間が短いこと、施設出入口の扉等を可能な限り閉めるなどの悪臭防止対策を講ずることから、対象事業実施区域の敷地境界における現況の特定悪臭物質濃度及び臭気指数を著しく悪化させることはないかと予測しました。よって、敷地境界での特定悪臭物質濃度及び臭気指数は、生活環境の保全上の目標を達成することができ、「整合性が図られている」と評価しました。</p>

総合的な評価

本調査では、本施設の稼働が周辺環境に及ぼす影響を予測した結果、全ての項目において、生活環境の保全上の目標と整合性が図られていると評価しました。

今後は、環境保全対策として、環境への影響を極力少なくするため、適切な環境保全対策を施設計画及び施工に反映させるとともに、施設を適切に運転管理し、周辺環境への負荷を可能な限り抑えることに努めます。

発 行

南房総市

住 所：南房総市富浦町青木 28 番地
連絡先：0470-33-1053（建設環境部環境保全課）

南房総市可燃ごみ中継施設等整備に係る 生活環境影響調査書 (概要版)

生活環境影響調査の目的

本調査は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」第9条の3第1項に規定する調査であり、周辺地域の生活環境に及ぼす影響について「廃棄物処理施設生活環境影響調査指針」(平成18年9月、環境省)に基づいて実施するものです。富津市に建設予定の新たな廃棄物焼却施設へ可燃ごみを効率的に運搬するために、本市が計画する可燃ごみ中継施設等の稼働が周辺地域の生活環境に与える影響を事前に調査・予測・評価し、施設の運転にあたって周辺環境への影響を及ぼさないように適切に環境保全措置を講じることを目的とするものです。

1. 事業計画の概要

事業計画の概要			
施設の設置者	南房総市	施設規模	63t/日(可燃ごみ中継施設)
整備予定地	千葉県南房総市検儀谷地先	廃棄物の種類	可燃ごみ、不燃ごみ、粗大ごみ、資源ごみ等
事業の名称	南房総市可燃ごみ中継施設等整備事業	処理方式	コンパクト・コンテナ方式
環境保全対策の概要			
大気質・悪臭	<ul style="list-style-type: none"> ○プラットフォームは建屋内に設置します。 ○施設出入口(プラットフォーム出入口を除く)の扉等を可能な限り閉めます。 ○粉じんが発生する箇所や機械設備には十分な能力を有する集じん装置や散水設備等を設ける等、粉じん対策を講じます。 ○脱臭装置を設置します。 		
騒音・振動	<ul style="list-style-type: none"> ○機器類については、低騒音型機器、低振動型機器の採用に努めます。 ○騒音が発生する機械設備は、基本的に建屋内に設置します。また、排風機・プロワ等の設備には消音機を取り付ける等、必要に応じて防音対策を施した構造とします。 ○施設出入口(プラットフォーム出入口を除く)の扉等を可能な限り閉じ、外部への騒音の漏洩を防ぎます。 ○振動が発生する機械設備は、振動の伝播を防止するため独立基礎、防振装置を設ける等の対策を講じます。 		
廃棄物運搬車両対策	<ul style="list-style-type: none"> ○南房総市、鋸南町及び業務委託業者が走行する廃棄物運搬車両等は、指定した走行ルート及び規制速度を遵守するよう指導し、運転者へ周知徹底します。 ○廃棄物運搬車両等の待機中のアイドリングストップ遵守、不必要な空ぶかしの禁止を指導し、運転者へ周知徹底します。 ○廃棄物運搬車両等が周辺的一般道路で待機(路上駐車)することがないように、本施設敷地内に速やかに入場させます。 		

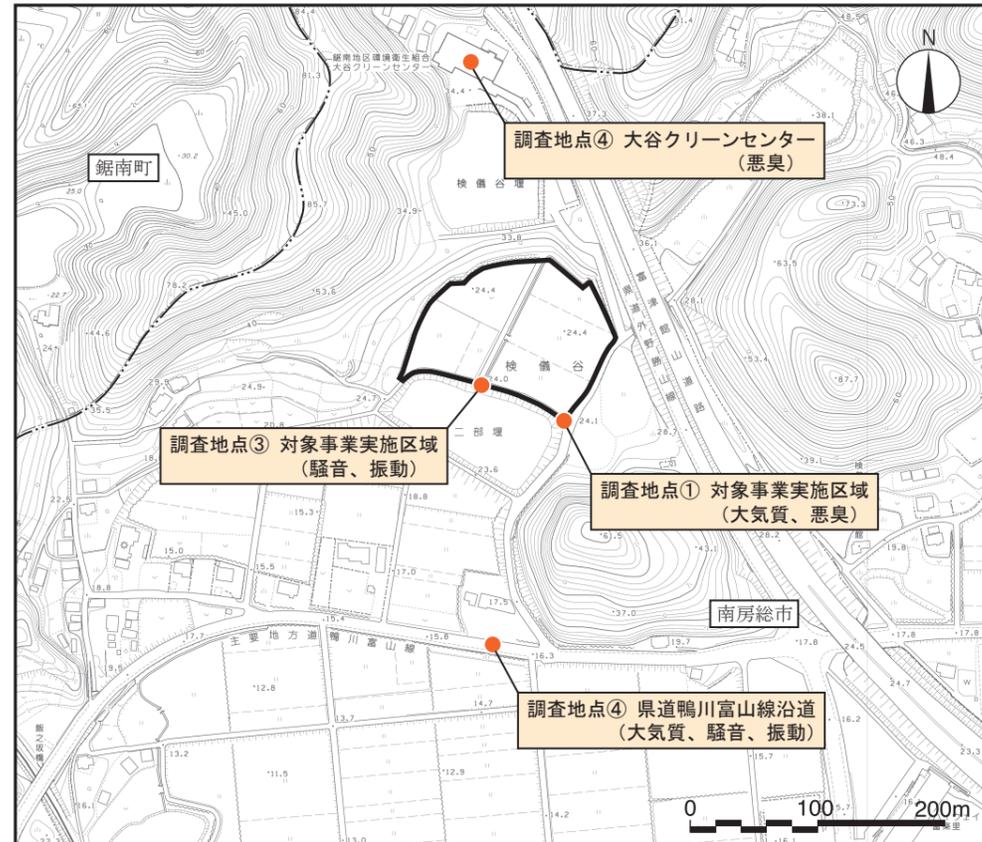
2. 生活環境影響調査項目の選定

可燃ごみ中継施設整備事業の特徴を考慮し、生活環境影響調査項目を選定しました。

調査事項	生活環境影響要因		施設排水の排出	施設の稼働	施設からの悪臭の発生	廃棄物運搬車両等の走行
	生活環境影響調査項目					
大気環境	大気質	粉じん		○		
		二酸化窒素 (NO ₂)				○
		浮遊粒子状物質 (SPM)				○
	騒音	騒音レベル		○		○
	振動	振動レベル		○		○
悪臭	特定悪臭物質濃度、臭気指数(臭気濃度)			○		
水環境	水質	生物化学的酸素要求量 (BOD) または化学的酸素要求量 (COD)、浮遊物質 (SS)、その他必要な項目(窒素、リン等)	×注)			

注) 水質について、本施設の設置に伴い発生するプラント排水は場内で処理し、循環利用する計画とし、ごみ汚水はごみに含ませ新焼却施設へ搬送することから、公共用水域へ放流することなく、周辺地域への影響はないと考えられます。よって、生活環境影響調査項目として選定いたしません。

3. 現地調査の概要



凡例

- : 対象事業実施区域
- : 市町界

注) この地図は、南房総市「南房総市都市計画基本図(2,500分の1)」(<https://www.city.minamiboso.chiba.jp/0000013956.html>)及び鋸町建設水道部「鋸町都市計画図」(2,500分の1)を加工し、使用したものです。

4. 現況把握及び予測並びに影響の分析

調査項目	調査期間
大気質	令和4年11月25日(金)～12月1日(木)
騒音・振動	令和4年12月14日(水)6時～15日(木)6時(24時間)
悪臭	令和4年8月17日(水)

大気質

項目	現況把握	予測・影響の分析																								
施設の稼働に伴う影響	粉じん(浮遊粉じん量)の現地調査結果は、全ての調査日において0.01mg/m ³ 未満でした。	環境保全対策に記載される内容を実施することで、事業者の実行可能な範囲内で周辺地域への影響は低減されるものと評価しました。																								
	二酸化窒素及び浮遊粒子状物質の現地調査結果は、全ての物質及び地点において環境基準値を下回っていました。	予測結果は、生活環境の保全上の目標を達成することができ、「整合性が図られている」と評価しました。																								
廃棄物運搬車両等の走行に伴う影響	<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>期間平均値</th> <th>1時間値の最高値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>二酸化窒素 (ppm)</td> <td>0.003</td> <td>0.012</td> </tr> <tr> <td>浮遊粒子状物質 (mg/m³)</td> <td>0.013</td> <td>0.053</td> </tr> </tbody> </table>	項目	期間平均値	1時間値の最高値	二酸化窒素 (ppm)	0.003	0.012	浮遊粒子状物質 (mg/m ³)	0.013	0.053	<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>予測結果</th> <th>生活環境の保全上の目標</th> <th>整合性</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>二酸化窒素 (ppm)</td> <td>0.013</td> <td>0.04以下</td> <td>○</td> </tr> <tr> <td>浮遊粒子状物質 (mg/m³)</td> <td>0.029</td> <td>0.10以下</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table>				項目	予測結果	生活環境の保全上の目標	整合性	二酸化窒素 (ppm)	0.013	0.04以下	○	浮遊粒子状物質 (mg/m ³)	0.029	0.10以下	○
	項目	期間平均値	1時間値の最高値																							
	二酸化窒素 (ppm)	0.003	0.012																							
	浮遊粒子状物質 (mg/m ³)	0.013	0.053																							
項目	予測結果	生活環境の保全上の目標	整合性																							
二酸化窒素 (ppm)	0.013	0.04以下	○																							
浮遊粒子状物質 (mg/m ³)	0.029	0.10以下	○																							
注)	二酸化窒素における環境基準：1時間値の1日平均値が0.04ppmから0.06ppmまでのゾーン内またはそれ以下であること。浮遊粒子状物質における環境基準：1時間値の平均値が10mg/m ³ 以下であり、かつ、1時間値が0.20mg/m ³ 以下であること。																									

騒音

項目	現況把握	予測・影響の分析																										
施設の稼働に伴う影響	環境騒音の現地調査結果は、全ての時間区分において、規制基準値を下回っていました。	予測結果は、生活環境の保全上の目標を達成することができ、「整合性が図られている」と評価しました。																										
	単位：dB	単位：dB																										
	<table border="1"> <thead> <tr> <th>時間区分</th> <th>騒音レベル</th> <th>規制基準値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>朝</td> <td>50</td> <td>55</td> </tr> <tr> <td>昼間</td> <td>50</td> <td>60</td> </tr> <tr> <td>夕</td> <td>49</td> <td>55</td> </tr> <tr> <td>夜間</td> <td>45</td> <td>50</td> </tr> </tbody> </table>	時間区分	騒音レベル	規制基準値	朝	50	55	昼間	50	60	夕	49	55	夜間	45	50	<table border="1"> <thead> <tr> <th>予測地点</th> <th>予測結果</th> <th>生活環境の保全上の目標</th> <th>整合性</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>敷地境界上における最大値出現地点</td> <td>47</td> <td>60以下</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table>				予測地点	予測結果	生活環境の保全上の目標	整合性	敷地境界上における最大値出現地点	47	60以下	○
	時間区分	騒音レベル	規制基準値																									
	朝	50	55																									
昼間	50	60																										
夕	49	55																										
夜間	45	50																										
予測地点	予測結果	生活環境の保全上の目標	整合性																									
敷地境界上における最大値出現地点	47	60以下	○																									
注)	道路交通騒音の現地調査結果は、全ての時間区分において、準用する環境基準値を下回っていました。																											
単位：dB	単位：dB																											
廃棄物運搬車両等の走行に伴う影響	<table border="1"> <thead> <tr> <th>時間区分</th> <th>騒音レベル</th> <th>環境基準値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>昼間</td> <td>61</td> <td>70</td> </tr> <tr> <td>夜間</td> <td>51</td> <td>65</td> </tr> </tbody> </table>	時間区分	騒音レベル	環境基準値	昼間	61	70	夜間	51	65	<table border="1"> <thead> <tr> <th>予測地点</th> <th>予測結果</th> <th>生活環境の保全上の目標</th> <th>整合性</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>県道鴨川富山線沿道</td> <td>61～65</td> <td>70以下</td> <td>○</td> </tr> </tbody> </table>				予測地点	予測結果	生活環境の保全上の目標	整合性	県道鴨川富山線沿道	61～65	70以下	○						
	時間区分	騒音レベル	環境基準値																									
	昼間	61	70																									
夜間	51	65																										
予測地点	予測結果	生活環境の保全上の目標	整合性																									
県道鴨川富山線沿道	61～65	70以下	○																									